



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 株式会社タスキホールディングス 上場取引所 東
コード番号 166A URL <https://tasuki-holdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏村 雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 狩野 雄一郎 TEL 03 (6447) 0575
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	26,674	—	3,124	—	2,985	—	2,681	—	1,736	—
2023年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 包括利益 2024年9月期第3四半期 1,805百万円 (—%) 2023年9月期第3四半期 1百万円 (—%)
2. 当社は2024年4月1日設立のため、2023年9月期第3四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2024年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
3. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	45.48	—
2023年9月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	58,962	21,382	35.4
2023年9月期	—	—	—

- (参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 20,847百万円 2023年9月期 1百万円
(注) 当社は2024年4月1日設立のため、2023年9月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は2024年4月1日設立のため、2023年9月期の実績及び2024年9月期第2四半期までの実績は記載しておりません。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,100	—	5,250	—	5,000	—	4,500	—	2,850	—	68.62

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 業績予想の修正については、本日（2024年8月2日）公表いたしました「業績予想の（上方）修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社オーラ

(注) 詳細は、2024年4月22日に公表いたしました「株式取得による子会社化及び特定子会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	51,535,523株	2023年9月期	一株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	6,604株	2023年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	38,177,952株	2023年9月期3Q	一株

(注) 1. 普通株式の期中平均株式数は、当社が2024年4月1日付で共同株式移転の方法により設立された会社であるため、会社設立前の2023年10月1日から2024年3月31日までの期間については、株式会社タスキの期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて算出し、2024年4月1日から2024年6月30日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて算出しております。

2. 当社は2024年4月1日設立のため、前年同期及び前年度の数値は記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2024年8月2日にT D n e t及び株式会社タスキホールディングスウェブサイトへ掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2024年4月1日付で共同株式移転の方法により、株式会社タスキ（以下、「タスキ」）と株式会社新日本建物（以下、「新日本建物」）の両社の共同持株会社として設立されました。新たに発足したタスキホールディングスグループは、経営統合によるシナジーの創出や、不動産事業のデジタル化への取り組みを加速させてまいります。また、強化された経営基盤のもと、事業ポートフォリオの最適化により、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大や賃上げなどの動きによる雇用・所得環境の改善に加えて、人件費や資源価格の高騰を製品・サービス価格に転嫁する動きが見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方で、国際情勢の動向、資源価格の高騰、円安が続く為替の状況などが国内外にもたらす影響には今後も注視が必要な状況であります。

当社グループの主たる事業領域である不動産市場においては、不動産価格は依然として高値圏で推移しており、特に東京23区では、戸建住宅と比較してマンション価格の上昇が目立ちます。金利引き上げの懸念はあるものの、急激な金利上昇は当面見込まれていないことや、円安を背景に、国内外投資家の不動産投資に対する意欲は底堅く推移しております。当社グループのビジネスモデルにとって追い風の事業環境となっております。

このような事業環境下で当社グループは、2024年4月1日から経営統合によるホールディングス体制となったことに加え、2024年4月22日付で連結子会社化した株式会社オーラ（以下、「オーラ」）が当社グループに入り、収益基盤の強化と事業領域が拡大したことにより、当社グループが描くインオーガニック戦略が着実に進捗しております。

Life Platform事業においては国内外の富裕層・投資家に向けた好調な販売状況が続いております。アセットマネジメントビジネスにおいては、2024年4月にタスキの第7号クラウドファンディング#1の募集・運用が開始され、第8号クラウドファンディング#1の組成も控えるなど、順調に進捗しております。また、2024年6月にタスキが金融商品取引法に基づく投資助言・代理業の変更登録を完了し、コストの面からファンド規模を拡大しやすい信託受益権取引によるファンド組成も可能となりました。今後、さまざまなアセットサイズで不動産ファンド組成を行い、投資家の多様な不動産投資ニーズに応えてまいります。

非連結であるSaaS事業においては、マンション開発企業・戸建開発企業を中心に、主力サービスである「TASUKI TECH LAND」の導入社数を順調に積み上げております。累計導入社数は77件となり、2024年9月末までに累計100件とする目標値まで大きく伸ばいたしました。建築ボリュームプラン自動生成サービスである「TASUKI TECH TOUCH&PLAN」についても特許を取得し、サービスの外部提供を開始いたしました。

当社は設立に際し、企業結合会計上の取得企業をタスキとしたため、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、タスキの2023年10月1日から2024年6月30日までの連結経営成績を基礎に、新日本建物の2024年4月1日から2024年6月30日までの経営成績と、オーラの2024年5月1日～2024年6月30日までの経営成績を連結したものとなります。なお、当第3四半期連結累計期間は、当社の設立後最初のものとなるため、前年同期との対比は行っておりません。

また、当社はM&Aの積極的な検討を継続し、インオーガニック戦略を推進するためキャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当社のキャッシュ・フロー創出力とオーガニック成長の実態を表す指標としてEBITDAを開示することといたしました。EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用として算出しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において新日本建物およびオーラの新規連結に伴う取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によってのれんを算出しております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は266億74百万円、EBITDAは31億24百万円、営業利益は29億85百万円、経常利益は26億81百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億36百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの金額は、セグメント間取引を相殺消去する前の金額であります。

(Life Platform事業)

売上高は265億29百万円、営業利益は30億23百万円となりました。

(Finance Consulting事業)

売上高は1億60百万円、営業利益は69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、589億62百万円となりました。流動資産は520億49百万円、固定資産は68億92百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合計で400億20百万円、現金及び預金が96億85百万円であります。

固定資産の主な内訳は、のれん39億10百万円等の無形固定資産が39億32百万円、有形固定資産が15億43百万円、投資その他の資産が14億16百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、375億79百万円となりました。流動負債は185億36百万円、固定負債は190億43百万円となりました。

流動負債の主な内訳は、短期借入金が84億58百万円、1年内返済予定の長期借入金68億4百万円であり、固定負債の主な内訳は、長期借入金184億92百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、213億82百万円となりました。その主な内訳は、資本金が30億24百万円、資本剰余金が139億13百万円、利益剰余金が38億94百万円、非支配株主持分が5億35百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績につきましては、本日(2024年8月2日)に公表いたしました「業績予想の(上方)修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	9,685,131
販売用不動産	1,780,690
仕掛販売用不動産	38,239,529
原材料及び貯蔵品	2,738
前渡金	679,548
短期貸付金	969,875
その他	691,696
流動資産合計	52,049,211
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	838,398
機械装置及び運搬具（純額）	0
工具、器具及び備品（純額）	33,382
土地	671,536
有形固定資産合計	1,543,317
無形固定資産	
のれん	3,910,551
ソフトウェア	10,242
その他	12,200
無形固定資産合計	3,932,993
投資その他の資産	
投資有価証券	1,102,935
繰延税金資産	51,030
その他	328,174
貸倒引当金	△65,602
投資その他の資産合計	1,416,537
固定資産合計	6,892,849
繰延資産	
開業費	143
創立費	20,319
繰延資産合計	20,462
資産合計	58,962,523

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年6月30日)

負債の部	
流動負債	
工事未払金	348,376
短期借入金	8,458,900
1年内返済予定の長期借入金	6,804,089
1年内償還予定の社債	104,000
未払金	1,213,711
未払法人税等	541,132
契約負債	679,603
賞与引当金	48,555
役員賞与引当金	24,341
その他	313,364
流動負債合計	18,536,074
固定負債	
社債	166,000
長期借入金	18,492,077
退職給付に係る負債	69,703
役員退職慰労引当金	67,314
繰延税金負債	101,854
その他	146,535
固定負債合計	19,043,484
負債合計	37,579,558
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,024,969
資本剰余金	13,913,899
利益剰余金	3,894,094
自己株式	△4,026
株主資本合計	20,828,937
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	19,021
その他の包括利益累計額合計	19,021
非支配株主持分	535,005
純資産合計	21,382,964
負債純資産合計	58,962,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	26,674,425
売上原価	21,330,434
売上総利益	5,343,991
販売費及び一般管理費	2,358,251
営業利益	2,985,739
営業外収益	
受取利息	1,210
受取配当金	718
受取地代家賃	19,365
その他	3,976
営業外収益合計	25,270
営業外費用	
支払利息	233,565
支払手数料	62,575
持分法による投資損失	21,730
その他	11,590
営業外費用合計	329,460
経常利益	2,681,549
税金等調整前四半期純利益	2,681,549
法人税、住民税及び事業税	830,874
法人税等調整額	63,887
法人税等合計	894,762
四半期純利益	1,786,786
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,421
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,736,365

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,786,786
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	19,021
その他の包括利益合計	19,021
四半期包括利益	1,805,807
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,755,386
非支配株主に係る四半期包括利益	50,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年4月1日付で株式会社タスキと株式会社新日本建物の経営統合にともない、共同株式移転の方法による両社の共同持株会社として設立されました。また、2024年5月10日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金及び資本剰余金が24,969千円ずつ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,024,969千円、資本剰余金が13,913,899千円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

当連結会計年度は当社の第1期となりますが、以下の項目は企業結合会計において取得企業とされる株式会社タスキで採用していた会計処理方法から変更しているため、会計方針の変更として記載しております。

(消費税等の会計処理の変更)

従来、販売用不動産及び仕掛販売用不動産に係る控除対象外消費税等については、発生した連結会計年度の費用として販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、居住用賃貸建物の取得等に係る控除対象外消費税等については、流動資産に計上し当該販売用不動産及び仕掛販売用不動産の販売及び引渡した連結会計年度の期間費用として計上する方法に変更いたしました。この変更は、株式会社新日本建物との経営統合に伴い、会計処理の原則及び手続きを統一するために会計処理を合わせたものであります。

なお、当該会計方針の変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	15,345千円
のれんの償却額	87,111千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	Life Platform 事業	Finance Consulting事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,527,229	146,745	26,673,975	450	26,674,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,318	13,772	16,090	△16,090	—
計	26,529,548	160,517	26,690,065	△15,640	26,674,425
セグメント利益	3,023,414	69,999	3,093,413	△107,674	2,985,739

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△16,090千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△107,674千円は、セグメント間取引消去245,001千円、各セグメントに配分していない全社費用△352,675千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、2024年4月1日に株式会社タスキと株式会社新日本建物の共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。これにより、のれんが2,842,931千円発生しております。また、当第3四半期連結累計期間に株式会社オーラの株式を取得し子会社化したことにより、のれんが1,154,731千円発生しております。なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって算出された金額であります。